



ヤゴ(種は不明)

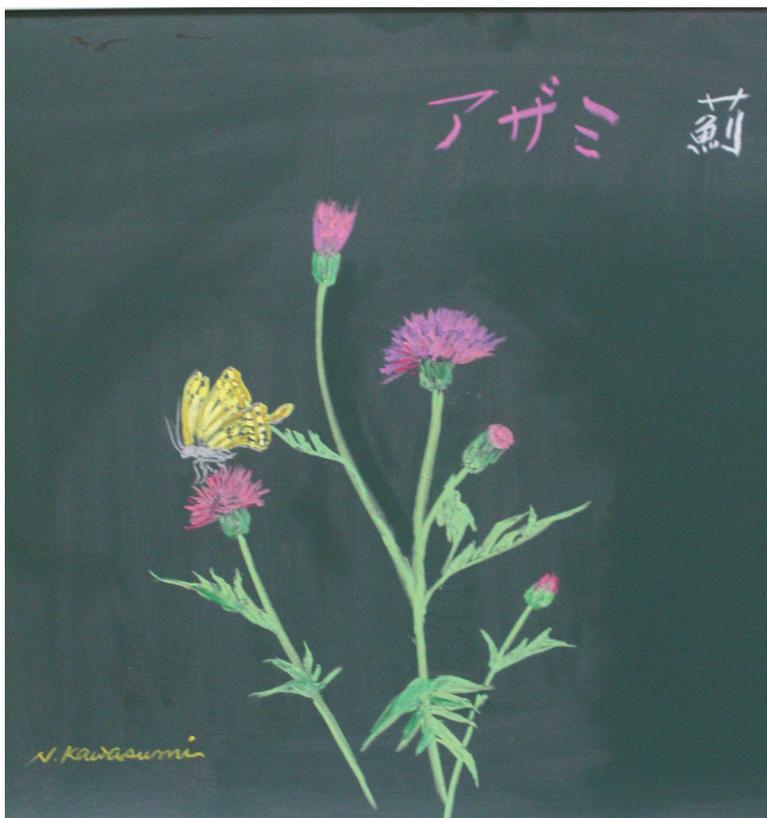
アザミは全草が食べられます。東北地方ではアザミの若芽は香りが良いので、みそ汁の具として好まれ、トゲのついた葉も天ぷらにすると全く気にならないそうです。また「やまごぼう」と呼ばれる根も漬物やきんぴらにして食べられるとのこと。いろいろな食文化があり興味が尽きませんね。

実際に食す際には形態の似た別種を誤食してしまってもいけませんので入念な下調べが必要ですが、身近なものに寄り添った食文化、是非体験してみたいと思わされる次第でございます。

アザミ

キク科アザミ属の多年草の総称ですが、日本だけでも六十種類以上が生息しています。

茎の先に頭花をつけ筒状花を沢山咲かせます。葉は翅上に裂け縁にトゲがあり、別名トゲグサと呼ばれます。



今、ふれあいの村では・・・

暦の上ではきつちりと秋になっていくのですが暑い日々が続いているので、毎年記事を書いている時点ではトリプル台風などという言葉も聞こえており、毎年真新しいイベントの起こる気象状況に戸惑うばかりです。◆先日、管理棟周辺を気分転換も兼ね散策してみました。バックヤードでは酒匂川水系に生息するミナミメダカの飼育繁殖を行っています。春から初夏に生まれた稚魚もだいぶ大きくなってきました。飼育槽の周りの水場にはタヌキモが残っていました。お盆前までの長い日照りで干上がってしまったかと思いましたが、良かったです。膨らんだ袋のような部分で水中の微生物を捕食します。◆きんたろうガーデンのピオトープに行くと、水中に銀杏がたくさん落ちておりました。近くにイチヨウの木はないので、タヌキがため糞をしたのでしょうか。気持ちよく水浴びをされていたのでしょうか。暑い中皆必死に生きている姿が想像できました。



アザミ



ミナミメダカ



クズ



タヌキモ



ギンナン(ため糞?)



アマガエル

外来種問題について

あれこれ

本年6月1日をもって、アメリカザリガニとミシシッピアカミミガメが特定外来生物に指定されました。今回の指定では個人的な飼育そのものには規制をかけない等、新たな規定を盛り込んだので指定となりました。既に多くの個体が飼育されており、規制することによりそれらが野外に放たれることを防ぐための措置です。

現在日本には様々な外来生物が生息しています。有名なブラックバスなどもそうですが、様々な目的の元に日本に輸入されおやみに野に放たれた結果、強い繁殖力等で日本古来の生態系に影響を及ぼしています。当然それらは駆除しなければならなくなるのですが、元々は人間が身勝手に連れてきた生き物であり、彼らもまた被害者でもあります。ただ悪者にするだけではなく、同じことを繰り返さないように責任を持って生き物と関わっていききたいものです。



中国で人気のザリガニ料理マールー・シャオロンシア。狩川近くの水路で捕獲し、泥抜きして作りましたがとても美味でした。

★フィールドワーク★

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。

今月のフィールドワークは番外編として、ふれあいの村を飛び出して狩川に行ってきました。◆堰堤の上にとたずむアオサギ。餌となる魚を探しているのでしょうか。◆支流の流れの上を飛び回るトンボがいました。黒い羽根に、緑がかった体。ハグロトンボです。水中に網を入れてみると同種の幼虫も見つかりました。一般的にヤゴと呼ばれるトンボの幼虫ですが、ハグロトンボを始めイトトンボ、カワトンボの仲間はこのように細長い体形をして、お尻から水を噴射することで前に進みます。◆草むらを探ると小さなエビを捕まえることができました。おそらくミナミヌマエビかと思いますが、ヌマエビ類の同定は難しく、なかなか断定はできないのでヌマエビの仲間とさせていただきます。◆他に魚も観察することができました。カワムツという魚。この魚は以前は酒匂川水系で見ることがなかったのですが、10年ほど前から見かける様になりました。もともとは西日本の魚なのですが、近縁のオイカワと同じく放流アユなどに交じって本州全域に広がっています。狩川へはどのような経路で入ってきたのでしょうか。他には、アブラハヤ、アユ、ボウズハゼを観察できました。◆川の隅にサトイモが生えていました。どこかの畑から種が流れたのでしょうか。最近観葉植物のクワズイモが自生したものを誤食する中毒のニュースを毎年見ます。確かでないものは食べないことが大切です。



アユ



ヌマエビの仲間



アオサギ



ボウズハゼ



カワムツ



ハグロトンボ



サトイモ



アブラハヤ



ハグロトンボ(ヤゴ)

【イベントのご紹介】

※お問合せは、足柄ふれあいの村へ電話(0465-72-2010)されるか、『足柄ふれあいの村』のホームページにアクセスしてください。

※今後、変更等がある可能性がありますので『足柄ふれあいの村』のホームページを随時ご確認ください。

「Mori・キッチン③」のご案内

ふれあいの村の管理する畑で丹精を込めて育てたサトイモを収穫し、それを使って野外炊事をします。自分たちの手で収穫した作物で作ったごはんは絶品です。家族で親子で美味しく楽しい時間を過ごしましょう。

実施日) 11月4日(土)【日帰り】

会場) 足柄ふれあいの村とその周辺

対象) 家族・親子

定員) 35人

参加費) 中学生以上1,400円 / 3歳以上～小学生1,000円

申込期間) 9月5日(火)～9月29日(金)

★来月のファミリーコミュニケーションの日:10月1日(日)

10:00～12:00《自然観察会》秋!足柄の森のキノコさがし(参加費無料)

13:00～15:00《クラフト教室》草木染り～自然を感じる染色体験～(材料費1,500円)

※10月は午前午後とも事前申込制です。定員を超えた場合は抽選となります。※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。※申込み・問合せはHP または電話などでお気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村(南足柄市広町1507)

電話: 0465-72-2010 FAX: 0465-72-2013

指定管理者: 株式会社アグサ(連携協力: 関東学院大学)

所管課: 神奈川県教育委員会教育局支援部 子ども教育支援課

URL: <http://www.ashigara-fureai.com/>